

2022
5/27
第159号

議会だより のだ

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp/>
Eメール gikai_jimukyoku@vill.noda.iwate.jp

4月20日、野田小学校2年生による
さけ稚魚放流会が行われ、下安家漁協の
さけ・ますふ化場見学では、たくさんの
稚魚が泳ぐ様子に見入っていました。

第11回定例会（令和4年3月）など

令和4年度の予算・・・・・・・・P2～4

定例会のあらまし・・・・・・・・P5

村政を問う（一般質問）・・・・P6～12



**野田村議会アンケートに
ご協力をお願いします！**

本紙の中面に アンケート用紙 があります。
お答えいただき、ポストに投函 してください。

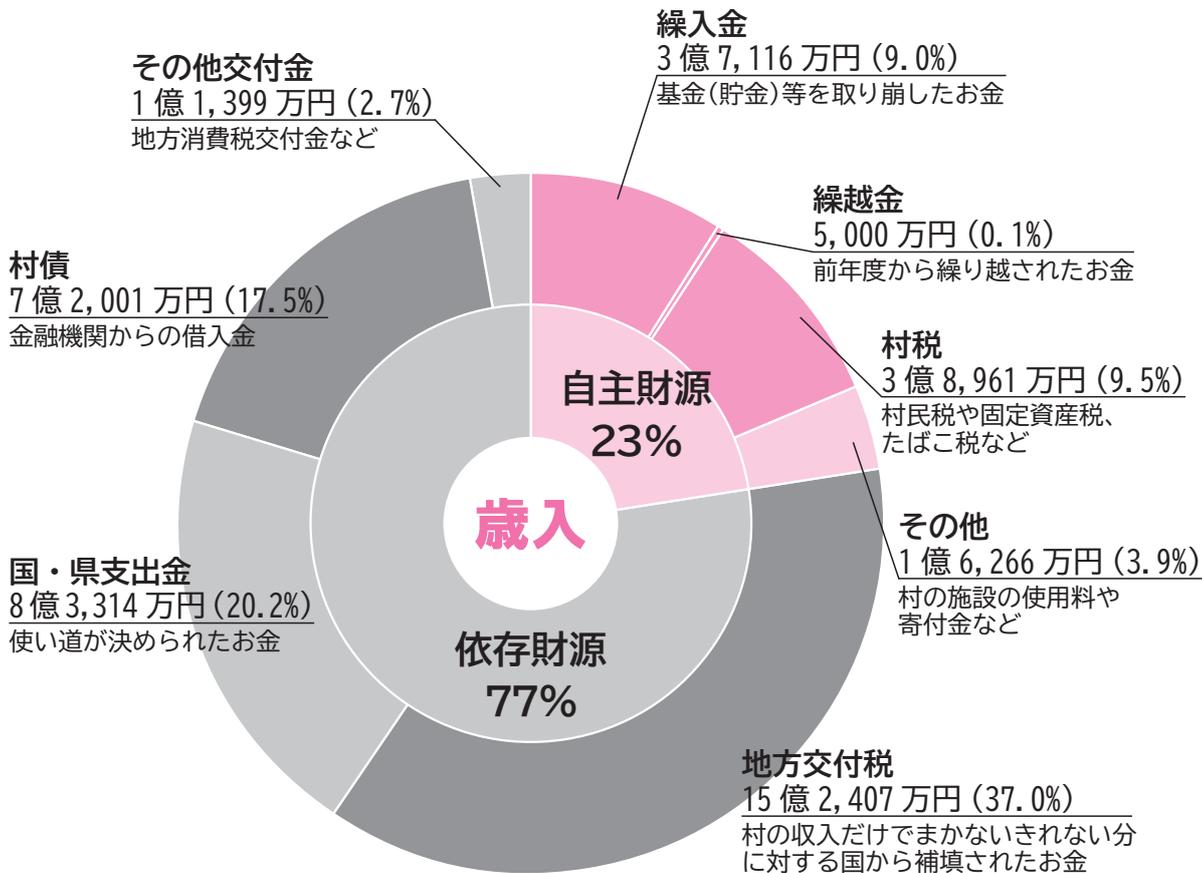
質問④ 議会全般についてご意見等ありましたらご記入ください。

※投票方法※
このアンケート用紙を図のようにコチラの差が外側になるよう三つ折りし、「のりしろ」のところに自分の住所と氏名、封筒などを入れ、そのまま投函ください。

※令和4年6月8日（水）までに投函をお願いします。

〒990-0001 秋田県北秋田郡野田町110番1号
（野田役所）
野田村議会事務局
※野田長崎

一般会計 41億1,651万円



3月定例会では、一般会計・各特別会計の令和4年度予算8件について、予算特別委員会を設置して審査を行いました。審査の結果、いずれも「可決」しました。

※各数値は四捨五入しているため、合計と合わない場合があります。

特別会計予算

国民健康保険事業	5億6,152万円
後期高齢者医療	5,248万円
農業集落排水事業	5,246万円
漁業集落排水事業	1,344万円
公共下水道事業	2億8,237万円
簡易水道事業	1億7,069万円
国民宿舎事業	4,495万円

用語解説

自主財源

村民税や村の施設の利
用料など、村が自主的に
収入することができるお
金のこと。

依存財源

国や県からもらう国・
県支出金や交付金、村債
などのこと。

地方交付金

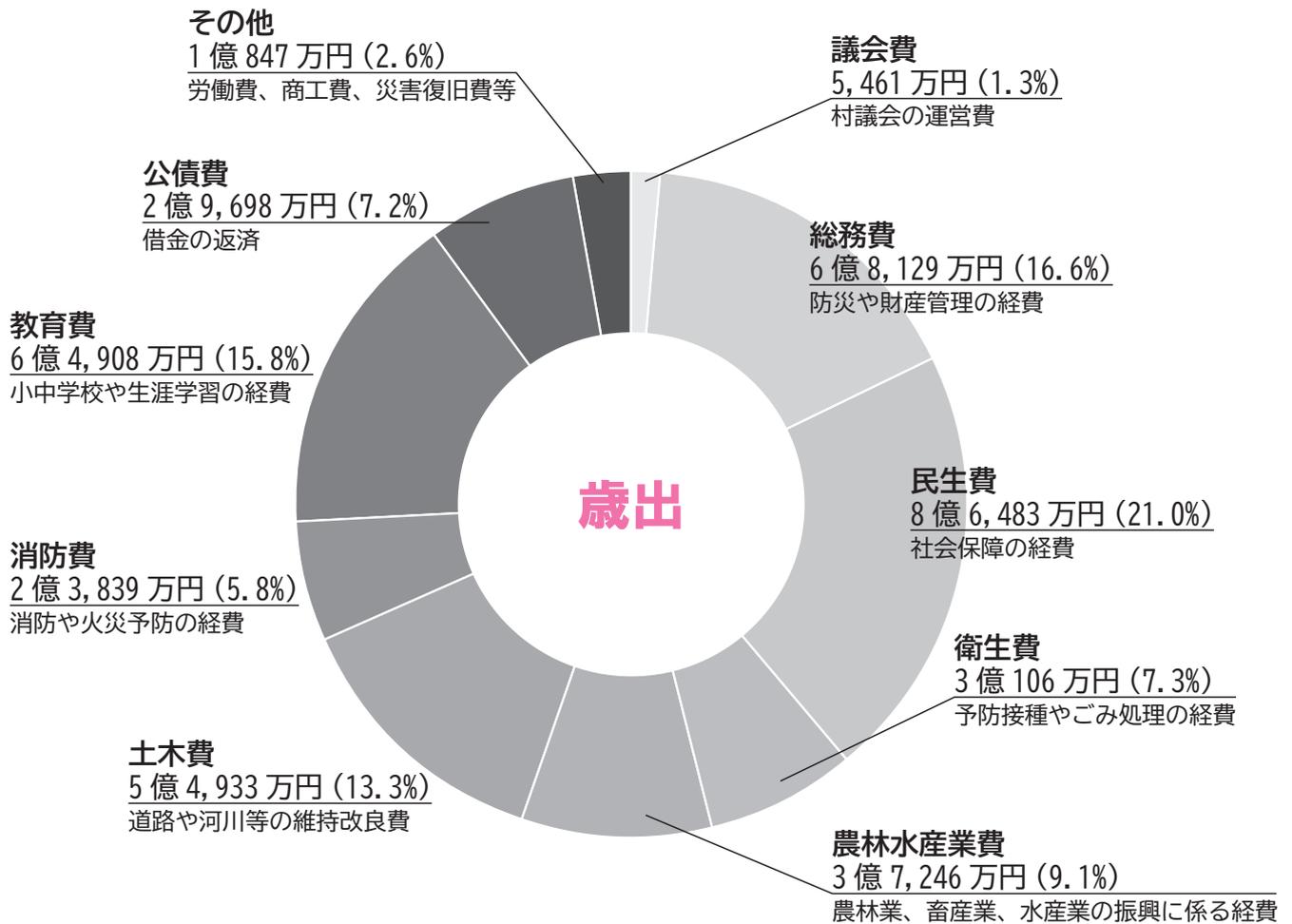
全国どこに住んでいて
も、一定水準のサービ
スを受けられるよう国から
配分されるお金のこと。

村債

村の借入金をいい、収
入の一種であるが、将来
償還しなければならない
お金のこと。



令和4年度当初予算



今年度新規事業

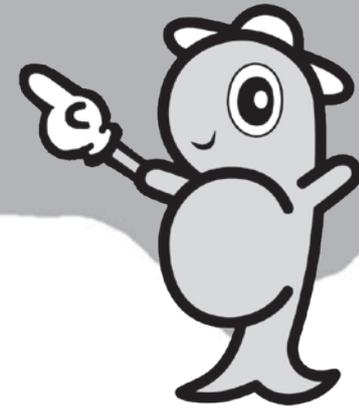
【ハード事業】

- 旧横合小学校解体事業
- 保育所整備補助事業
- 交流物産等複合施設業務委託事業
- 上明内住宅下水道接続水洗化改修事業
- 高規格救急車更新事業
- 村民プールろ過機更新事業
- 地区公民館整備事業
- コミュニティ助成事業

【ソフト事業】

- 新しい生活様式を踏まえた
イベント促進事業
- コンビニ交付導入事業
- 診療所維持管理事業
- ナラ枯れ被害木駆除業務委託料
- 十府ヶ浦海岸活用促進事業

令和4年度 予算を チェック



予算特別委員会は、議長を除く
11人で構成され、各分野の予算
について質疑を行いました。

※1万円未満切り捨て

**交流物産等複合施設
設計業務委託事業**

Q どういうコンセ
プトで設計に反
映させていくのか。

A 村の窓口として
の機能を備えた
施設。現在、産直・道
の駅の関係者等、参画
したいという方々の意
見をいただいている。

**上明内住宅下水道接続
水洗化改修事業**

Q 改修内容、着手
時期は。

A 下水道の接続の
排水設備工事、
トイレの水洗化、ユ
ニットバスの交換等を
予定している。できる
だけ早く着手したい。

コンビニ交付導入事業

Q 取得できる書類、
証明書等は。

A 「住民票」と「印
鑑登録証明書」
の2種類が、各コンビ
ニで取得可能となる。

**村民プール
ろ過機更新事業**

Q あらゆるところ
に経年劣化が見
られるが大規模改修の
考えは。

A 今のろ過機が使
用に耐えられな
いということで、急遽、
予算を確保した。改修
等については、今後検
討していく。

診療所維持管理事業

Q 機器の充実を図
り、即時結果が
出るものを導入しては。

A 今回は、今ある
機器の更新。機
器の充実については医
師等と十分協議しなが
ら進めていく。

3 月例会

第11回村議会定例会が3月2日から10日までの9日間を会期として開催されました。
本定例会では、一般会計・特別会計の令和4年度当初予算のほか、令和3年度の補正予算、条例改正などの議案が提出され、審議を行いました。
また、4日には6人の議員が一般質問を行いました。

補正予算

一般会計予算
1億2169万
9000円減

一般会計では、歳入・歳出予算それぞれ1億2169万9000円を減額し、総額を43億1824万8000円としました。

歳出の主なものは、公共施設等整備基金積立金、村債管理基金積立金及びひるぎ農農村整備事業負担金等に要する経費のほか、一般職給与費等の人件費などとなっております。

人事

固定資産評価審査委員
中野富雄氏 再任

令和4年3月31日で任期満了となる固定資産評価審査委員の中野富雄氏を再任することに同意しました。任期は令和4年4月1日から3年間です。

人権擁護委員
中村智子氏 推薦

令和4年6月30日で任期満了となる人権擁護委員の中村智子氏を再び推薦することに同意しました。

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

去る2月24日、ロシア軍がウクライナに侵攻する様子が世界中が恐怖のどん底に突き落とされ、連日報道されるウクライナの惨状に大きな悲しみと怒りを感じています。多くの犠牲者や負傷者が出るなど、その激しさは日に日に増し、ウクライナを破壊しています。ついこの間まで楽しく幸せに暮らしていた家族も引き裂かれ、恐怖と悲しみの中、必死に我が子をかばい避難をする母親の姿を見るとき、誰もが声を上げずにはいられないのではないのでしょうか。さらには、何の罪もない子どもたちの悲しみの涙を見るたび胸が締め付けられ涙を抑えることができません。この状況を早く終わらせ、子どもたちの笑顔とウクライナの人たちの平穏を取り戻すことを願い、ロシア軍の即時撤退と核兵器の使用もほのめかずロシアに対する政府の毅然とした対応を「非核平和の村」の議会として強く求める。

令和4年3月10日 岩手県野田村議会

発議案

「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」を全会一致で可決しました。

議会改革特別委員会

野田村議会に関するアンケートのお願い

この度、野田村議会では全国的な課題となっている議員のなり手不足や議会機能の向上に向け、村民の皆様が日々感じている議会に対する考えをお聞かせいただきたく、アンケートを用意いたしました。

専用のアンケート用紙を今回の議会だよりに添付させていただきましたので、ご協力よろしくお願いたします。

野田村議会

村政を問う

一般
質問

議員 **6** 人が登壇

一般質問は、村の行政事務全般（一般事務）に関し、村の所見や疑義について質問することができ、定例会でのみ（原則）行うことができます。

質問時間は、1人**60分まで**となっており、1つの質問につき**3回まで**質問することができます。



古舘 幹男 議員 (P7)

玉川保育所整備 建て替えの経過と進捗状況は

丹野 和子 議員 (P8)

高齢者地域支援事業 提案型の高齢者福祉対策を



中川 昇 議員 (P9)

交流物産等複合施設 着工時期は

障子上 文義 議員 (P10)

三陸沿岸道路 全線開通 八戸市との連携した取り組みを



米田 徳一郎 議員 (P11)

少子高齢化 変化に対応した産業・観光振興の施策を

山田 陽子 議員 (P12)

新型コロナウイルス感染症 感染後 自宅療養者への村の支援は





古館 幹男 議員

玉川保育所整備

建て替えの経過と進捗状況は

村長 早期着手に向け準備を進める

問 玉川保育所の建て替えの経過と進捗状況は。また、今年度中の完成を願っていたい。

村長 同保育所の整備については、野田村保育会において令和3年度と令和4年度の2か年で新しい園舎を建て替える計画であったが、用地取得の遅れから令和3年度の事業を断念すると補助金申請の取り下げがあったもの。この補助金については、新年度予算に改めて計上させていただいた。現在の状況については、用地と家屋の補償に係る交渉も終了。早期の着手に向け準備を進めたい。



建て替え作業が進められている「玉川保育所」

玉川児童館老朽化対策は

問 玉川児童館もかなり老朽化が進み、風の強い日は恐怖を感じると聞いている。耐震調査は実施しているか。今後とも利用するのであれば対策・対応を考えるべきでは。

村長 耐震の調査については現在していないが、現場の確認では、経年劣化はあるが不具合等についてはないとのこと。今後については、小学校を建て替える予定であることから、総合センターで実施している城内地区児童クラブの小学校への移転の検討

を進めており、今後、玉川児童クラブを含めた児童クラブ全体の実施場所や施設運営の在り方等さらに検討していく。

村で医師の養成を

問 医師の養成、特に産婦人科の医師の養成が必要急務な状況。村として、産婦人科の医師養成をし、奨学金免除をしても養成すべきでは。

村長 村では、令和元年度からの参加による「多職種連携教育事業」に取り組み、長期視点で医療等の分野の人材確保を図るほか、交流人口の拡大等、多面的波及効果の獲得を目指している。奨学金の制度については、村単独でやるのは難しい。県の制度を利用していただきたい。

復興道路開通後の対策は

問 復興道路と国道45号の通行量の増減は。

村長 1月18日に国土交通省東北地方整備局より発表された資料によると、三陸沿岸道路 普代〜久慈間の交

通量は1日当たり、開通前調査時点の令和3年10月から比較し、トータルで約1.4倍の増加。国道45号においては約45%の減少となった。

問 道の駅の利用客の増減は。

村長 観光物産館はあぶらの同時期と比べ4.4%減少。全線開通し間もないことや、コロナ禍でもあることから直接的な影響については、引き続き調査分析を進め状況を見視する。

問 玉川地区のハイフインターの設置は。また、緊急連絡路の舗装整備は。

村長 緊急連絡路の舗装整備務所に確認したところ、来年度の予算状況を勘案しながら進めるとの回答であった。舗装とあわせてハイフインターの整備について、早急な整備を要望していく。

【その他の質問】

○文化財の保護と活用について

提案型の高齢者福祉対策を

村長 適切なサービス支援事業を実施



丹野 和子 議員

問

高齢者の支援事業に つながっていない方に看護師や保健師等の専門の方が接触を図り、健康状態の把握、その後の生活についての話し合いを持ち、生涯、野田村で暮らせるような提案型の高齢者対策が必要ではないか。

村長

野田村地域包括支援センターでは、社会福祉協議会と協力し、自宅訪問による実態把握を行い介護サービスを受けていない方にも適切なサービス支援につながるよう努めている。また、包括支援センターを役場内に設置したことでワンストップの相談業務や支援を要する高齢者情報の共有によるアウトリーチ型（※注1）の支援も行っている。すべての高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、地域で支え合う体制づくりに努めていく。

（※注1）積極的に対象者のいる場所に向向いて働きかけること）

新型コロナウイルスワクチン接種のスケジュールは

問

新型コロナウイルスの3回目接種、小児

（5歳〜11歳）のワクチン接種のスケジュールはどうなっているか。

村長

週2回の接種体制を組み合わせ、18歳以上の村民の接種完了は、5月の見込み。小児の接種については、久慈市内の3か所の病院等で3月から行う。

会計年度任用職員の待遇改善は

問

会計年度任用職員（臨時職員）の報酬が上限に達した状況での期末手当の引き下げは収入減少となる。報酬の上限を引き上げて、収入の減少は回避すべきではないか。

村長

期末手当の引き下げは、岩手県人事院勧告に基づいて正職員も行われている。また、会計年度任用職員とは、任用期間が一会計年度内であること、職務の内容や正職員とのバランス等、さまざまな面を考慮し上限を設定している。全体として、この制度導入前より収入面や勤務条件等で改善しており、報酬の上限を引き上げる予定はない。

生涯学習における拠点施設である図書館の在り方は

問

他の市町村から来た方にも「図書館」とわかりやすい表示を。

教育長

「野田村立図書館」との表示を検討する。

問

子どもたちに図書館のことを学ぶ機会を。

教育長

図書館の見学、読み聞かせ等を通じて本とふれあう機会をつくる。

問

図書館の予算の増額を。

教育長

スペース的な部分もあるが、蔵書の充実を図りながら対応していく。

問

図書館はコミュニケーションが大事。また来ようと思えるところであることが重要ではないか。

教育長

調べたいこと、相談等があるときは、図書館司書に気軽に声をかけていただきたい。



読み聞かせボランティア「あっぷっぷ」のおはなし会



中川 昇 議員

交流物産等複合施設

着工時期は

村長 令和5年度に着工し完成したい



道の駅の機能は新施設へ移す予定

問

三陸沿岸道路が全線開通し、新たな観光需要の取り込みが期待される。村では野田インターチェンジ付近に複合施設を整備する計画であるが、既存の道の駅の在り方、新施設の機能、着工までのスケジュール等は。

村長

施設規模や必要な機能など精査し、令和4年度に設計業務に着工したい。また、5年度に施設建設に着工し完成したいと考えている。現在の観光物産館は残し、道の駅の機能は新しい施設に移す予定である。



通学路でもあることから早急な安全性対策を

村道高校通り線と 県道野田山形線交差点 付近へ街路灯の設置を

問

当該路線の交通量が大きく増加しており、交差点付近は夜間、照明がなく暗い状況にある。高校生の通学路でもあり、複合施設の建設も予定され、人車の往来が多くなることから、防犯、事故防止の観点から街路灯を設置すべきと考える。

村長

県道を管理する県北広域振興局に要望している。現状を考慮すると安全対策を講じる必要があると認識しているため、県に強く要望しながら、村としての対応も早急に検討していきたい。

3歳児健康診査の 屈折検査機器導入を

問

子どもの視力は成長とともに発達し、小学校に入學する頃に決まるといわれている。この時期に弱視の原因となる乱視や遠視があると眼鏡等しても十分な視力が得られない。「屈折検査」により早期に発見し、治療につなげれば回復が高いといわれている。屈折検査による弱視の発見が重要であり、子どもを弱視から救うための環境を整えることが必要と考える。

村長

多彩なスクリーニング（※注2）を実施するための「屈折検査」は、子どもの弱視発見に有効と伺っており担当医師と検査機器導入について検討しており、前向きに取り組んでいきたい。（※注2 集団を対象に検査を行い、疾患の罹患者や発症が予測される患者を検出するための検査）

子宮頸がん予防 ワクチン接種は

問

子宮頸がんなどの原因となる「HPV」の感染を防ぐワクチンについて、国は平成25年から中止していた積極的な接種勧奨を令和4年から再開する

問

よう通知したところである。安全性や予防効果の確認ができたため再開することとなった。接種機会を逃した救済対象者には積極的な勧奨が望まれるが、本村の現状と対応は。

村長

接種勧奨中止の期間に該当する本村の対象者は104名で、国からは令和4年度から3か年で接種すると伺っている。国のガイドラインで示されている接種勧奨年齢の児童は、14名で全員に接種勧奨を行う。

成年年齢引き下げへの 対応は

問

令和4年4月から成年年齢が20歳から18歳に変わる。親の同意がなくても契約できるようになり、トラブルに巻き込まれるなどの恐れがある。消費者被害から守るための取り組みについて伺う。

村長

成人や契約について理解を深めてもらうため、消費生活センター等関係機関と連携して制度の周知に努めていく。広報紙やホームページへの掲載のんちゃんネット等を活用し周知したい。

八戸市との連携した取り組みを

村長 連携交流の在り方や方策について検討



障子上 文義 議員

問

三陸沿岸道路完成に伴い、村民の生活圏が広がりを見せており、通勤や通学、買い物や通院などさまざまな分野で八戸市と関わりを持つて生活する方々が、今後増えることが予想される。また、八戸市方面から野田村に観光や仕事で訪れる方々も増やせる良いきっかけとなる。村民のより豊かな生活を実現するため八戸市と連携した取り組みが必要と考えるが、村としては、今後どのような取り組みを行うのか。

村長

八戸市とはこれまで、北奥羽開発促進協議会の構成員として青森県や岩手県への各種要望を行ってきたところであり、今後ともに取り組んでいきたいと考えている。また、八戸市は、野田村から最も近い人口集積地であることから、観光誘客や移住・定住促進などさまざまな面で連携を進めることが本村の振興にとつても効果的であることから、さらなる連携交流の在り方や方策について検討していく。

問

八戸市内の企業や学校に野田村に住みながら勤めたり、勉強したりという

ような環境を整えるべきと思うが。

村長

八戸に限らず、宮古までも1時間かからず、本村からの通勤圏内になってくると考える。野田村に住んで仕事は八戸や宮古というように、選んでもらえるような施策等、皆様方から意見をいただきながら進めていければと思っています。

子育て世帯に生活保障の導入を

問

子どもたちが心身ともに健やかな成長を遂げられ、地域の将来を担う子どもたちを守り育てるために子育て世帯に対する生活保障となる仕組みの独自導入を検討するべきと考えるが、村としてどのように考えているか。

村長

村では、子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、エンゼル祝金や保育料の無料化、在宅子育て応援手当や子どもの医療費無料化などを実施し、安心して子育てができる環境づくりを目指し、取り組んできた。また、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に係る国の経済対

策の一つとして、子育て世帯への臨時特別給付金を支給した。村としては、今後とも現行の事業を継続しながら子育てにやさしい村、安心して子育てができる村を目指していく。

問

近隣の岩泉町では子育て世帯専用住宅を小学校の隣に整備したりしているが、そういった取り組み等は今後できないものか。

村長

村の財源等見ながら、できる範囲で検討していきたいと思っている。子育て世帯を対象とした住宅は、以前、検討したこともあるが野田村には村営住宅というものがあ。子育て世帯を対象とした住宅を整備する場合には単費で行わなければならないため、非常に厳しいかと思っ。今後、状況を見ながら勉強させていただきたい。



エンゼル祝金の贈呈式



米田 徳一郎 議員

少子高齢化

変化に対応した産業・観光振興の施策を

村長 さらなる場所づくりをどう進めるか検討

「地域や商店街の活性化」については、コミュニティや商店街の再生とともに、賑わい創出を図るため共同店舗として「ねま〜る」が多種多様な方が多目的に活用できる施設内容となっており、施設を活用して村の観光協会ほか関



4月30日に「ねま〜る」で開催された野田村プチよ市

問 城内地区に「商業・福(社)交流館」を整備し、村民の交流の場、商いの場を確保「まちなか賑わい再生」を図る考えは。

村長 地域や商店街の活性化は、誰もが住み慣れた地域で安心して、健康で明るい自立した生活ができるよう、そして、お互いを大切に全体で支えあつていく社会を目指すためには重要であると認識している。

係団体が多くの関連イベントを実施することにより地域の人々が集う場と機会を提供し「まちなか賑わい再生」の役割を果たしている。今後、さらなる場所づくりをどのような形で進めるべきか検討する必要があると考えている。

久慈工業高校存続支援は
問 久慈工業高校への完全給食の提供と学校給食費の無償化を図り、子育て支援の拡充と工業高校の生徒数確保に取り組む考えは。

村長 現在、希望者に副食を200円で提供している。完全給食となれば既存設備では賄うことが困難な状況にある。生徒数確保の取り組みについては、経済的な負担軽減などに継続して取り組んでいる。令和3年度から同校の「魅力アッププロジェクト」に協力し、生徒が大阪大学教員の講義を受けられる機会を創出した。令和4年度は定例開催を目指して協議を進めている。工業高校は学区にとらわれず受験可能なことから令和4年度当初予算案に広告費相当額を計上し、久慈工業高校の魅力や守り育てる会が実施する各種支援を周知していきたい。



オンラインで大阪大学教員の講義を受ける久慈工業高校生

三陸沿岸道路全線開通に伴う今後の取り組みは

問 村の玄関口に位置付けたインターチェンジ付近の土地の利用計画をどのように考えているのか。

村長 交流物産等複合施設整備予定地周辺は、ほとんどが農地や山林で民有地であることから現時点では計画がない。

問 三陸沿岸道路の利用者が少なく不便とのこと。トイレとパーキングを等間隔で整備するよう国に要望する考えは。

村長 トイレやパーキングの整備について利用者の声は聴きますが、村としては村内のさまざまな施設を利用していただくような方策を検討していきたい。

漁業者の確保・支援の取り組みは
問 最近の漁業経営の実態をどのように捉え漁業者の確保、支援に取り組むのか。

村長 具体的には、養殖水産物の生産量向上の取り組みやサケ資源回復のため、県や県増殖協会等と連携した体制維持支援のほか引き続き新規就業者確保のため、SNSを活用した情報発信や各種イベントへの積極的な参加など、関係機関と連携しながら課題解決に向け粘り強く取り組んでいきたい。

【その他の質問】
○都市公園の維持管理の現状と課題は
○下水道(合併処理浄化槽)について

感染後 自宅療養者への村の支援は

村長 いわて健康観察サポートセンターへ



山田 陽子 議員

問 新型コロナウイルス感染症について、村民が自宅療養者、濃厚接触者となった場合、外出は厳禁となり日用品などの生活必需品等が調達できなくなる。現在の村の支援体制は。

村長 感染後、自宅療養となった場合の支援は「いわて健康観察サポートセンター」が健康観察や業者を通じて体調に関する相談を受け付け、一人暮らしで買い物に行けない場合は、業者を通じて食料品の提供も同センターや保健所から行われている。

避難行動の検証が必要

問 地域防災計画について1月15日、南太平洋トンガ沖の海底火山噴火で岩手県沿岸市町村に津波警報が16日コロナ禍の厳冬の深夜から未明にかけての厳しい条件下で出された。このことは、改めて今回の避難行動の検証が必要であることを示している。近々示される日本海溝・千島海溝地震による津波浸水想定図を基に今回の教訓を盛り込み住民の防災意識の醸成を図ることが必要だ。どのように捉え考えているのか。

村長 県では日本海溝・千島海溝地震等の津波浸水想定を検討を行っている。村では、この津波浸水想定を基に、令和4年度において津波浸水防災マップの見直しを図る。改定後の地域防災計画には「冬期間や夜間の訓練の実施について考慮すること」や「避難場所までの距離や地域の実状に応じ自動車による避難」などが記載され見直しする津波浸水防災マップの配布と併せ、防災訓練を実施していくことを検討している。

問 津波浸水想定図の説明会等のスケジュールとこの2年間はコロナ禍のため地区懇談会等が中止となったが、今後はコロナ禍においても工夫し、積極的な対応をしていくべきだと考えるが、その点についての考え方は。

村長 令和4年度に示される津波浸水想定図を見てコロナ禍であっても、どのようなかたちで進めるかも含め村民の皆さんに適切な情報等しっかり伝えていく責務があるので、内部で検討して進めていく。

改正後も二十歳の成人式か
問 4月から、成年の定義が見直され、民法が改正され成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることにより、成人式の在り方に関して村ではどのように検討されたのか。併せて2020年度、第69回の成人式はコロナ感染症拡大のため実行委員会の判断で中止となったが、その後村としては何らかの対応策はないのか。

教育 二十歳での成人式で検討する。

2020年度の成人式は、協議結果の中止であり、対応策は考えていない。

脱炭素社会へ努力していく姿勢が大事

問 脱炭素社会について、2050年脱炭素社会への目標に努力していく姿勢が大事であるが、その取り組みは。

村長 再生可能エネルギーや脱炭素社会の実現について、住民と考える機会を設けていく。



検査等感染対策をしながら行われた
第70回 野田村成人式

議案一覧

会議	議案番号	議案名・議案内容	議決結果
第11回 定例会 3/2 、 3/10	議案第1号	令和3年度野田村一般会計補正予算（第7号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ1億2,169万9,000円を減額し、総額を43億1,824万8,000円とするもの	可決 (賛成全員)
	議案第2号	令和3年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ1億1,903万5,000円を減額し、総額を5億4,069万6,000円とするもの	
	議案第3号	令和3年度野田村後期高齢者医療補正予算（第3号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ107万5,000円を減額し、総額を4,299万円とするもの	
	議案第4号	令和3年度野田村農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ800万円を減額し、総額を5,704万6,000円とするもの	
	議案第5号	令和3年度野田村漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ250万円を減額し、総額を1,799万2,000円とするもの	
	議案第6号	令和3年度野田村公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ4,585万9,000円を減額し、総額を3億4,962万9,000円とするもの	
	議案第7号	令和3年度野田村簡易水道事業特別会計補正予算（第3号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ568万9,000円を減額し、総額を1億5,685万8,000円とするもの	
	議案第8号	令和3年度野田村国民宿舎事業特別会計補正予算（第2号） ⇒予算総額に歳入歳出それぞれ544万2,000円を減額し、総額を3,243万4,000円とするもの	
	議案第9号	個人情報保護条例の一部を改正する条例 ⇒デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、改正しようとするもの	
	議案第10号	野田村国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ⇒全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、改正しようとするもの	
	議案第11号	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例 ⇒過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の制定に伴い、改正しようとするもの	
	議案第12号	野田村防災会議条例の一部を改正する条例 ⇒多様な視点から意見を取り入れ防災会議の機能向上を図るため、委員定数に関する規定を改正しようとするもの	
	議案第13号	村道城内二又線改良(歩道新設)工事(その2)の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて ⇒村道城内二又線改良(歩道新設)工事(その2)の変更請負契約を締結しようとするもの	
	議案第14号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定することに関し議決を求めることについて ⇒辺地に係る公共的施設を総合的かつ計画的に整備するため、総合整備計画を策定しようとするもの	
	議案第15号	村道路線の認定に関し議決を求めることについて ⇒県道野田山形線切替事業に伴い、県道の区域外となる区間を村道に移管するため、認定しようとするもの	
議案第16号	野田村固定資産税評価審査委員会の委員の選任に関し同意を求めることについて ⇒固定資産税評価審査委員として中野富雄氏を選任することに関し議会の同意を求めるもの	同意 (賛成全員)	
議案第17号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて ⇒人権擁護委員候補者として中村智子氏を推薦することに関し議会の意見を求めるもの		
議案第18号～ 第25号	令和4年度一般会計・各特別会計予算 ⇒2、3ページ参照	可決 (賛成全員)	
発議案 第1号	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議について ⇒ロシアによるウクライナ侵攻に対する抗議と政府への毅然とした対応を強く求めるもの	可決 (賛成全員)	

※議長は採決に加わらない

議会の動き

県北地区選出県議会議員との懇談会

(2月7日 盛岡市) 議長・副議長

広域連合議会議員全員協議会

(2月10日 久慈市) 議長

村政調査会

(2月15日 村役場) 全議員

岩手県町村議会議長会「第73回定期総会」

(2月18日 盛岡市) 議長

広域連合議会定例会

(3月3日 久慈市) 議長

東日本大震災追悼行事

(3月11日 大津波記念碑前) 議長・副議長

野田中学校入学式

(4月6日 野田中学校) 議長

村政調査会

(4月15日 村役場) 全議員

野田小学校入学式

(4月16日 野田小学校) 議長

久慈警察署新庁舎見学

(4月19日 久慈市) 議長

八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会総会

(5月11日 八戸市) 議長

など

議会だよりクイズ

問題

今年度の【ハード事業】はどれ？

- ① 診療所維持管理事業
- ② 村民プールろ過機更新事業
- ③ コンビニ交付導入事業

【前号の答え】 ① サ ケ

【当選者】 藤森 健成 さん
宇部 和行 さん

正解者の中から抽選で3名の方に
景品をプレゼント!

【応募方法】

はがきやFAXなどで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先を記入してご応募ください。応募は1人1通までとし、匿名での応募は受け付けません。議会だよりに対するご意見もお待ちしております。

【応募先】

〒028-8201 九戸郡野田村大字野田20-14
野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで
FAXの場合は 0194-78-3995 まで

【締め切り】 6月20日消印有効とします。

【当選発表】

次回号で当選者(特に断りが無い限り氏名)を発表します。

あどがき

青葉の美しい季節となりました。水田では田植えも盛んに行われており、秋の豊作を願うものです。

コロナの収束もなかなか見えない中で、様々な制限をされながらの生活も長期化し、皆様大変なことと思います。

さて、3月定例会においては、主に令和4年度予算について慎重に審議し、一年間の事業や活動等を確認したところです。内容の一部ですが「議会だより」をご一読いただければ幸いです。これからも読んでいただける編集に努めてまいりますので、ご意見、ご感想をお寄せください。

小野寺 光男

発行責任者

議長 廣内 和之

広報編集委員会

委員長 障子上 文義
副委員長 小野寺 光男
委員 米田 徳一 郎
委員 野崎 泰斗
委員 中川 昇